



研究会風景(昨年)

平成22年11月5日(金)

愛知県産業技術研究所 工業技術部機械電子室

担当 鈴木、村上

電話 0566-24-1841

愛知県産業労働部地域産業課 技術振興・調整グループ

担当 津本、木津

内線 3360, 3361

ダイヤルイン 052-954-6340

「燃料電池に関する技術研究会」の参加者を募集します

—燃料電池研究者との情報交換の場としてご活用ください—

自動車や家庭用電源、モバイル電源など様々な分野で進められている燃料電池の開発動向について情報交換し、燃料電池の研究開発の一層の促進を目指すための技術研究会を、11月17日(水)と12月1日(水)、愛知県産業技術研究所、愛知県新エネルギー産業協議会^{*1} 及び愛知工研協会^{*2}の主催により開催します。

この研究会は、燃料電池とその周辺機器の開発に係わる企業、大学、試験研究機関の方々を対象にしたもので、第一線でご活躍されている研究者の方々を講師としてお招きし、固体高分子形燃料電池(PEFC)部材の一つである「ガス拡散層」と「電極評価技術」について講演を行います。

多くの皆様方のご参加をお待ちしています。尚、参加は無料です。

1 開催内容

(1)第1回「ガス拡散層に関する開発動向」

【内容】 ガス拡散層の構造が PEFC の発電性能に及ぼす影響や、ガス拡散層の開発経緯についての講演を通じて、現状の課題と今後の展望について紹介します。

【日時】 平成22年11月17日(水) 午後1時30分～午後4時30分

【場所】 愛知県産業技術研究所 講堂
刈谷市恩田町1丁目157番地1

【プログラム】

取組紹介「燃料電池トライアルコアの紹介」

愛知県産業技術研究所 工業技術部

主任 鈴木 正史

講演 I 「固体高分子形燃料電池におけるガス拡散層・流路の構造設計と水分制御」

京都工芸繊維大学 機械システム工学部門

講師 西田 耕介氏

講演 II 「様々な固体高分子形燃料電池用ガス拡散層とこれらの開発経緯のご紹介」

有限会社MFCテクノロジー

代表取締役社長 村田 誠氏

(2)第2回「膜-電極接合体の分析・評価技術」

【内 容】 三次元電子顕微鏡を用いた電極の可視化、細孔分布測定法による電解質膜の特性評価方法の講演を通じて、膜-電極接合体の研究開発に必要な分析・評価技術について紹介します。

【日 時】 平成22年12月1日(水) 午後1時30分～午後4時30分

【場 所】 愛知県産業技術研究所 講堂
刈谷市恩田町1丁目157番地1

【プログラム】

取組紹介「愛知県産業技術研究所工業技術部の取組み紹介」

愛知県産業技術研究所 工業技術部

部長 山本 昌治

講演 I 「三次元電子顕微鏡法による電極触媒層の性能・劣化評価技術」

京都工芸繊維大学 工学科学部

准教授 陣内 浩司氏

講演 II 「PEFC電極触媒の評価技術」

株式会社住化分析センター 愛媛事業所 構造物性グループ

サブリーダー 山口 拓哉氏

2 参加申し込みについて

(1)申込方法

燃料電池やその周辺機器の開発に係わる企業、大学、試験研究機関の方々はじめ、どなたでも参加できます。参加申込書によりFAXにてお申し込みください。

参加申込書は、産業技術研究所本部及び産業労働部地域産業課にて入手できます。また、産業技術研究所本部のホームページ(<http://www.aichi-inst.jp/>)からもダウンロードできます。

(2)申込期限

平成22年11月15日(月)

(3)定員

50名(先着順)

(4)参加費

無料

3 問合せ先及び申し込み先

愛知県産業技術研究所 工業技術部機械電子室 鈴木、村上

〒448-0013 刈谷市恩田町1丁目157番地1

電話:0566-24-1841 FAX:0566-22-8033

URL : <http://www.aichi-inst.jp/>

【用語解説】

※1 愛知県新エネルギー産業協議会

産・学・行政を構成員に、地域の新エネルギー関連産業の振興策について協議するとともに、振興に必要な技術分野、社会システム分野などの課題解決に向けた研究会を行っています。

※2 愛知工研協会

愛知県に拠点を持つ企業(200社以上)で構成され、工業技術の向上・改善・開発を通じて、生産の合理化を図り、産業界の発展に寄与することを目的に研究会、講演会等を行っています。